

ニセコ温泉郷国民保養温泉地計画書

平成30年12月

環境省

目次

1. 温泉地の概要	…1
2. 計画の基本方針	…1
3. 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	…2
4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な石の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	…3
5. 温泉資源の保護に関する取組方針	…3
6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	…5
7. 温泉地の特性を生かした温泉の公共的利用増進に関する方策	…6
8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	…7
9. 災害防止対策にかかる計画及び措置	…8
添付	
1. 国民保養温泉地位置図	…9
2. 国民保養温泉地地域図	…10

1. 温泉地の概要

ニセコ温泉は北海道の西部、ニセコ積丹小樽海岸
国定公園内にあり、ニセコ町と蘭越町にまたがる地
域に位置する。ここは日本海から連なるニセコ連山、
蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山といった美しい山々に
囲まれた農山村である。地域の中央には清流日本一
の尻別川が流れており、豊富な水と寒暖差の大きい
内陸性気候の特性を生かし、米やジャガイモなどの
農産物を生産している。また、ニセコエリアは国内
外から観光客が集まる道内有数の観光地であり、特
に近年は外国人観光客の増加が顕著である。



図 1 ニセコ連山

ニセコ温泉は、ニセコ連山の中腹エリアに点在しており、その歴史は明治以前から始まった硫黄鉱山の
開発に遡る。当時はたくさんの鉱業所で賑わっており、明治37年に鉄道が開通するとさらに人の往来が
増え、同時に温泉開発も進んだ。ニセコ温泉の特徴は泉質が多様なことで、昆布、湯本、五色、新見の4
地区に分かれている。

昆布地区はニセコアンベツ川沿いに発達した温泉地で、4地区の中で最も施設集積度が高い地区である。
旅館1軒、ホテル4軒がニセコモイワスキーリゾートに隣接している。近年リゾート開発が進んでおりさ
らなる成長が期待されている。なお、泉源は各施設が保有しており、それぞれの泉質を楽しめる。

湯本地区は昆布地区の北方約4kmのチセヌプリの南麓に位置し、山スキーやキャンプの拠点とな
っている。地区内は高温のガスにより温められた湖水が大きな湯
沼を形成しており、湖面に浮いている黄色球状硫黄は学術的に貴
重なものとされている。ここには蘭越町営の日帰り温泉が1施設
営業しており、チセヌプリスキー場と湯本温泉野営場が隣接して
いる。

五色地区は湯本地区の東方約4km、ニセコアンヌプリの西麓
に位置し、ニセコ連山を登山する人たちの拠点となっている。旅
館2軒が営業（内1施設休業中）しており、ニセコ野営場、ニセ
コ町五色温泉インフォメーションセンターが隣接している。

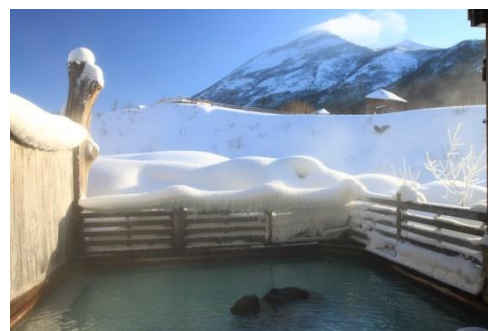


図 2 五色温泉旅館

新見地区は湯本地区の西方約4.5km、蘭越町の北方約8kmに位置する湯治場である。旅館2施設
あるが、現在2施設とも休業している。

2. 計画の基本方針

ニセコ温泉は、それぞれの地区の特性や魅力を生かした運営が行われてきており、名湯百選にも名を連
ねるなど、観光や湯治を目的とした利用者が多数訪れている。また、道内では珍しく長い歴史を有する温
泉地であり、国定公園に指定されている豊かな自然と共存してきた。今後もこれらの取組を大切しながら、
利用者の保養に努めるとともに、海外観光客を含め様々な人と交流できる温泉地を目指す。

- ①ニセコ温泉の豊かな自然環境、地域資源を活用する。
- ②施設の整備は安全性、利便性に配慮し、自然や景観と調和を図る。
- ③ニセコ温泉の歴史や文化、風土を継承していく。
- ④昆布温泉観光協会を中心に関係各所と連携を図り、様々な人が利用し交流できる温泉地づくりに取り組む。

3. 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

ニセコ温泉はニセコ積丹小樽海岸国定公園内にあり、国内有数の豪雪地帯である。冬になるとシベリア方面から西向きの季節風が吹き、日本海で水分を蓄えた空気は、ニセコ連山を駆け上がることで凝結し、浮遊感の高い独特のパウダースノーを形成する。東方に位置する羊蹄山がその雲を引き留め、毎日のように雪を降らせるため年間降雪量は平地で12mを超える。また、ニセコアンヌプリは標高が1300mと、北米やヨーロッパのスキーリゾートのように標高が4000mを超えるものではなく、良質な雪が低地で降るという「奇跡の場所」とも呼ばれる。



また、札幌市からは車で2時間程度の距離にあり、道南エリアを結ぶ交通路が別にあるため、車の通行量はさほど多くはなく、夏期にはサイクリングを楽しむ人が増えている。また、ニセコ連山では登山やトレッキング、麓を流れる清流日本一の尻別川ではラフティングやカヌーを楽しむ人も多い。この川には鮎やヤマメ、イワナ、ヤツメウナギのほか、幻の魚イトウが生息しており、太公望の聖地にもなっている。



また、清廉で豊富な水、平穏な海洋性気候から寒暖差の大きい内陸性気候が同居する地域特性を生かして、質の高い多品目の農産物を生産する道内有数の農業生産地でもある。特に「ゆめぴりか」を主体とする蘭越米、ニセコ山系のジャガイモは品質が高く、地域の重要産品となっている。

当地域の自然環境は大変厳しいものであるが、住民生活のみならず、観光客にとっても貴重な資源である。豪雪地帯でもある当地域は、北陸や東北地域とは異なる雪文化を育み、地域を形成してきた。その中で、環境基本条例、水道資源保護条例、地下水保全条例、景観条例などを制定し、将来に貴重な環境を引き継いでいけるよう取り組んでいる。

(2) 取組の現状

ニセコ温泉は昭和33年に国民保養温泉地の指定を受け、観光、湯治、登山、スキー等での利用に供される施設づくりがなされてきた。時代とともに利用者の目的は変化していき、多くの施設では団体旅行の減少から個人向けの施設へと改修が進んでいる。また、外国人観光客の増加や家庭風呂の増加から、入浴マナー等の公衆浴場文化についての告知などにも力を入れ、多くの人が快適に利用できるよう取り組んでいる。

(3) 今後の取組方策

ニセコ温泉においてはさらに自然環境、地域、歴史、風土及び文化等の維持保全を図るため、国や北海道等の関係機関と調整のうえ(2)の取組を継続するとともに、住民はもとより国内外からの観光客が訪れ、利用者の健康増進に寄与できる観光地を目指す。



4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師又は人材の配置の状況

ニセコ温泉郷では、医学的立場から適切な温泉利用や健康管理について指導を行う医師又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置しており、その名称及び活動の状況等は、以下のとおりである。

①医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
蘭越診療所 高階日出男	内科医	医療施設において、随時、温泉療養相談を実施	平成29年度～

②人材

資格	人数	活動内容	配置年度
温泉ソムリエ	4	各地において健康増進のための温泉利用を安全かつ適切に行えるよう講習等を開催	平成29年度～

(2) 配置計画又は育成方針等

ニセコ温泉では、医師及び人材の配置を継続するとともに、関係各所と連携して対応者の育成、補強等に努める。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

各地区の温泉資源の状況は、以下のとおりである。

地区	源泉	温度(°C)	湧出量(1/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
昆布	ニセコ昆布温泉(1号井・2号井の混合)	52.3	1号井: 50 2号井: 40	含硫黄-ナトリウム・カルシウム-塩化物	動力揚々	民間	ホテル1施設(空の抄)
	ニセコ昆布温泉(甘露の湯2号井)	50.6	200	含硫黄-ナトリウム・カルシウム-塩化物	自噴	民間	ホテル1施設(甘露の森)
	1号井	48.9	330	ナトリウム-塩化物泉	動力揚々	民間	ホテル1施設(ニセコグランドホテル)
	ニセコグランドホテル3号井	67.2	190	ナトリウム-塩化物-炭酸水素温泉	動力揚々	民間	ホテル1施設(ニセコグランドホテル)
	ニセコ昆布温泉(新)	65.8	185	ナトリウム-塩化	動力	民	日帰り入浴1軒

	泉)			物・炭酸水素	揚々	間	(鯉川温泉、休業中)
	ニセコモイワ山温泉 (和みの湯)	52.8	測定不能	含硫黄－ナトリウム －塩化物・炭酸水素 塩温泉	動力 揚々	民間	ホテル1施設(ワ ンニセコ)
湯 本	湯本温泉(雪秩父(硫 黄泉))	56.8	-	単純硫黄泉	自然 湧出	町 営	日帰り入浴1件 (雪秩父)
五 色	五色の湯温泉(ニセコ 山の家)	61.5	100	酸性・含硫黄－マグ ネシウム・ナトリウ ム－硫酸塩	自然 湧出	民間	旅館1施設(ニセ コ山の家、休業中)
	ニセコ五色温泉(五 色温泉)	76.1	-	酸性・含硫黄－マグ ネシウム・ナトリウ ム－硫酸塩	自然 湧出	民間	旅館1施設(五色 温泉旅館)
	五色温泉(花畑温泉)	52.5	-	酸性・含硫黄－マグ ネシウム・ナトリウ ム－硫酸塩・塩化物 温泉	混合	民間	旅館1施設(五色 温泉旅館)
新 見	ニセコ新見温泉(1 号井)	64.4	200	カルシウム・ナトリ ウム－硫酸塩泉	自然 湧出	民間	旅館2施設(新見 本館、新見温泉ホ テル、2施設とも 休業中)
	ニセコ新見温泉(2 号井)	65.1	100	カルシウム・ナトリ ウム－硫酸塩泉	自然 湧出	民間	

(2) 取組の現状

ニセコ温泉の各源泉の取組状況は、以下のとおりである。

地区	源泉	取組	実施主体	実施年度
昆 布	ニセコ昆布温泉(1 号井・2号井の混合)	毎朝、湧出量の確認をしている。	源泉所有者	平成25年度～
	ニセコ昆布温泉(甘 露の湯2号井)	毎日温泉の温度、源泉流量の検診確認。 7時、13時、21時、24時に行って いる。	源泉所有者	平成15年度～
	1号井			
	ニセコグランドホテ ル3号井	毎日の温度観測	源泉所有者	昭和26年度～
	ニセコモイワ山温泉 (和みの湯)	毎日塩素残量確認及び補給、受水槽及び 温泉槽の貯水量確認、大浴場の清掃、空 調・衛生設備の確認	源泉所有者	平成24年度～
湯 本	湯本温泉(雪秩父(硫 黄泉))	定期的な源泉管理と浴槽等の清掃、毎朝 浴槽等の清掃、毎日の温度観測	源泉所有者	平成27年度～
五 色	五色の湯温泉(ニセ コ山の家)	定期的な源泉管理と搬送パイプ点検及び 清掃	源泉所有者	昭和29年度～

(3) 今後の取組方策

ニセコ温泉の各源泉において、設備等の更新により、安定的に温泉の利用を図るため、以下の取組を行う。

地区	源泉	取組	実施主体	実施予定年度
昆布	ニセコ昆布温泉（1号井・2号井の混合）	温泉の湯量維持のため、新設の井戸を検討	源泉所有者	平成30年度～
	ニセコ昆布温泉（甘露の湯2号井）	温水ボイラー更新	源泉所有者	平成30年度～
五色	五色の湯温泉（ニセコ山の家）	平成30年度より施設全般の改修工事予定	源泉所有者	平成30年度～

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

ニセコ温泉において、温泉利用のための設備及び温泉利用施設数は、以下のとおりである。

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
昆布	6	引湯管、貯湯槽	5施設（内1施設休業中）
湯本	1		1施設
五色	2		2施設（内1施設休業中）
新見	2	引湯管	2施設とも休業中

(2) 取組の現状

ニセコ温泉において、温泉利用のための設備に係る衛生面の取り組み状況は以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	源泉に薬剤。年1回レジオネラ菌検査	源泉所有者
引湯管	自主的	バルブ・ドレン等の点検を不定期に実施。	施設所有者
貯湯槽	自主的	月1で源泉タンクの確認。年2回の源泉タンクの清掃消毒。ホテル内のタンクも年2回の清掃消毒。温泉集約柵の清掃と蓋の点検	施設所有者
浴槽	自主的	浴槽関係は2ヶ月ごとに清掃及び消毒。清掃は毎日実施	施設所有者
設備周辺	自主的	状況を確認し、清掃を実施	施設所有者

(3) 今後の取組方策

温泉を衛生的に良好に保つため、(2)の取組を継続するとともに、設備周辺について以下の取組を進める。

設備	区分	取り組み	実施主体
設備周辺	自主的	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードヒーティングに熱源取り込み ・排雪熱を利用し給水温度の上昇を図ることで給湯用ボイラー稼働の短縮による燃料削減 	施設所有者

7. 温泉地の特性を生かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

ニセコ温泉は、地域が開墾、開発された明治時代から利用されてきており、地域の発展とともに現在に至る。その間、主な利用が湯治から観光（レジャー）に姿を変えているが、地域における重要コンテンツであることに変わりはない。特に近年は外国人観光客が増加しており、温泉に対するニーズはますます増加している。

①過去3年間の温泉利用者数

(単位：人)

年度	宿泊人数	日帰り人数	合計
平成26年度	173,234	38,401	211,635
平成27年度	153,206	82,180	235,386
平成28年度	142,220	115,318	257,538

②直近1年間（平成28年度）の温泉の利用者数

(単位：施設、人)

温泉地	区分	施設数	総定員	利用者数				
				4月	5月	6月	7月	8月
昆布	宿泊	5	1,080	5,344	9,721	9,957	12,529	16,666
	日帰り	-	-	1,738	3,469	2,117	3,070	4,299
湯本	宿泊	-	-	0	0	0	0	0
	日帰り	1	-	3,890	7,093	5,311	5,294	6,374
五色	宿泊	2	40	221	318	428	559	766
	日帰り	-	-	1,097	2,431	3,119	3,058	3,920
新見	宿泊	2	休業中					
	日帰り	-						
合計	宿泊	10	1,120	5,565	10,039	10,385	13,088	17,432
	日帰り	-	-	6,725	12,993	10,547	11,422	14,593

温泉地	区分	利用者数						
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昆布	宿泊	11,293	6,860	13,506	16,730	13,487	10,802	11,293
	日帰り	3,346	3,012	1,391	2,884	5,634	4,436	3,608
湯本	宿泊	0	0	0	0	0	0	0
	日帰り	5,894	5,653	1,951	1,827	3,276	2,647	3,311
五色	宿泊	580	372	130	280	170	110	98
	日帰り	3,268	2,400	570	1,550	1,100	820	460
新見	宿泊	休業中						
	日帰り							
合計	宿泊	11,873	7,232	13,636	17,010	13,657	10,912	11,391
	日帰り	12,508	11,065	3,912	6,261	10,010	7,903	7,379

(2) 取組の現状

ニセコ温泉では温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

温泉地	取り組み	実施主体
昆布、湯本、五色、新見	湯めぐりパスを作成し、湯めぐり周遊を促進	(株)ニセコリゾート観光協会
昆布	昆布地区観光協会を地域事業者が設立運営。パンフレットの作成や鳥瞰図の管理などを実施	昆布地区観光協会
昆布、湯本、五色、新見	秋から冬にかけて観光客の誘客を目的にらんこし湯めぐりスタンプラリーを開催	蘭越町観光協会

(3) 今後の取組方策

ニセコ温泉において、さらに温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、環境の保全や文化伝承に配慮した取組を継続する。また、町民を含む様々利用者の健康増進と、外国人を含め観光客などとの交流を促進する。

温泉地	取組	実施主体
昆布 湯本	温泉ソムリエの活動と連携し、正しい入浴方法や温泉の楽しみ方をわかりやすく伝え、利用者の保養を推進する	各施設、ニセコ温泉部
五色 新見	ウォーキングや食と連携し、温泉と地域文化を楽しむイベント等を開催。新たな温泉の楽しみ方を提供する	各施設、(株)ニセコリゾート観光協会

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) ニセコ温泉における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
昆布	公有施設	・道路（道道66号線、町道） ・遊歩道、鳥瞰図 ・昆布簡易郵便局
	私有施設	・宿泊施設（5施設、内1施設休業中）、スキー場（1施設） ・公園（湧水口）
湯本	公有施設	・道路（道道66号線、町道） ・日帰り温泉施設（1施設）、キャンプ場（1施設）
	私有施設	・スキー場（1施設）
五色	公有施設	・道路（道道58号線） ・インフォメーションセンター（1施設）、キャンプ場（1施設）
	私有施設	・宿泊施設（2施設）
新見	公有施設	・道路（道道268号線）
	私有施設	・宿泊施設（2軒、休業中）

(2) ニセコ温泉における高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取り組み	実施主体
昆布 湯本	公有施設	道路	補修及び保守管理	道、町
		建築物		
五色 新見	私有施設	建築物	表示の拡充、段差の解消	施設所有者

(3) 今後の取組方策

ニセコ温泉において、さらに高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整のうえ、次の取組を進める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
昆布 湯本 五色 新見	公有施設	道路	補修及び保守管理	道、町
		建築物		
	私有施設	建築物	表示の拡充、段差の解消	施設所有者

9. 災害防止対策にかかる計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

ニセコ温泉の各地区の施設周辺には大きな河川や急傾斜地指定場所等がなく、広域地域全体で被災した台風による風害などのほかに災害は発生していない。

(2) 計画及び措置の現状

ニセコ温泉の各地において現在災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は以下のとおりである。

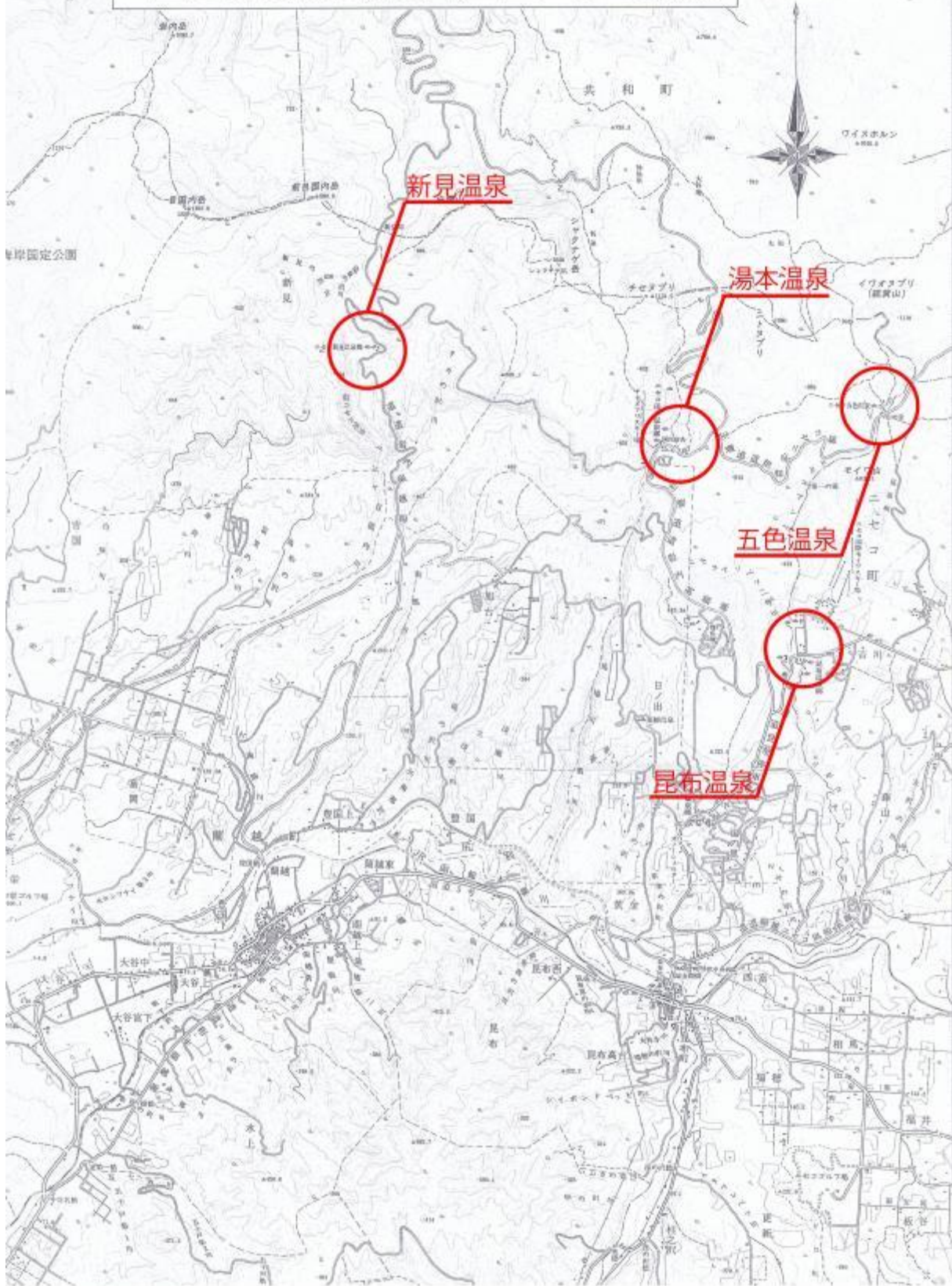
温泉地	計画又は措置	内容
昆布 湯本 五色 新見	ニセコ町地域防災計画 (平成 23 年度策定) 蘭越町地域防災計画 (昭和 35 年度策定)	温泉地内において各町の防災計画に基づき防災対策を推進する。 ・防災ラジオや防災無線通信により緊急時情報伝達を自動化 ・ニセコモイワスキーリゾートの駐車場を災害時一時避難場所に指定

(3) 今後の取組方策

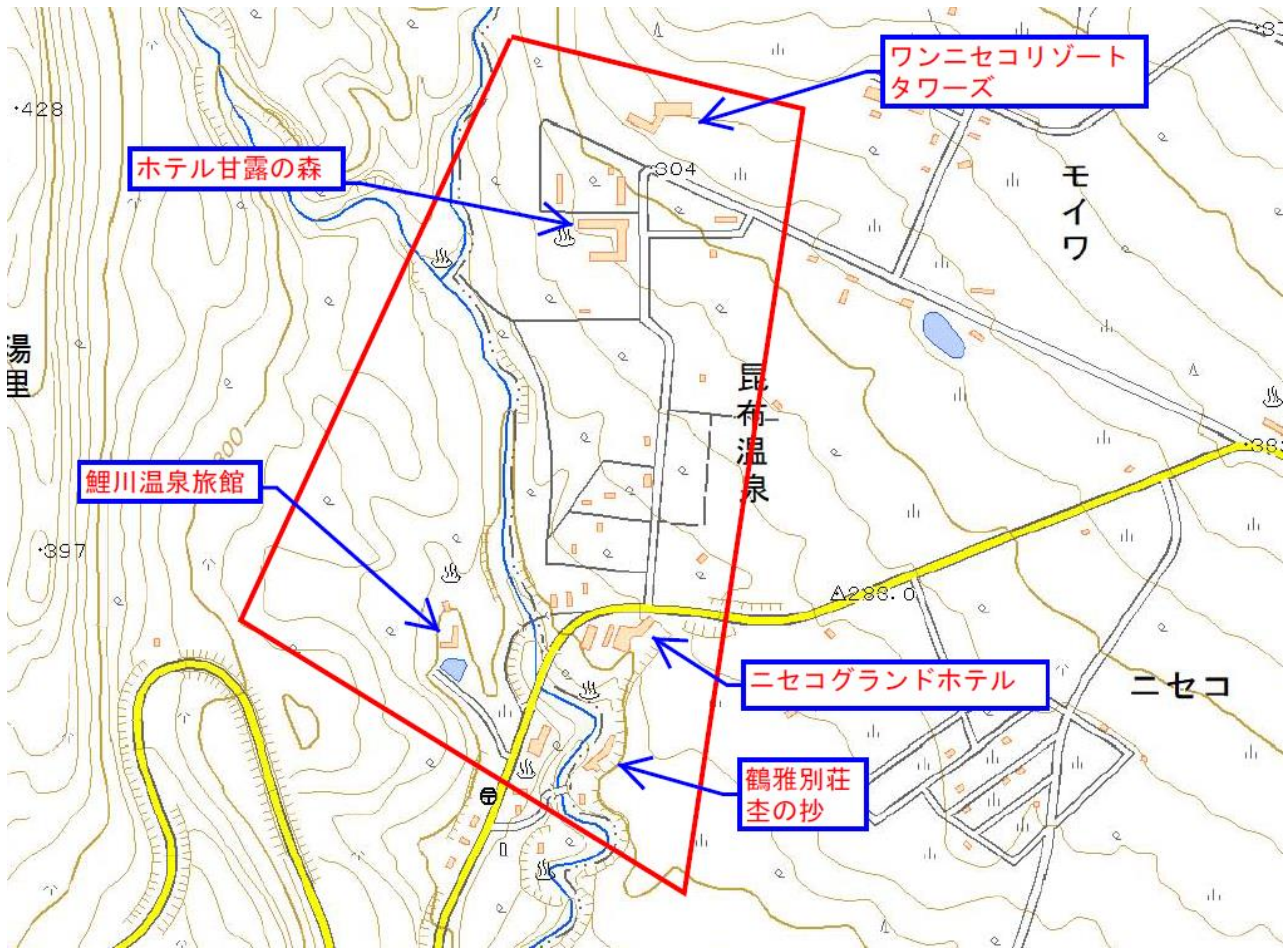
ニセコ温泉において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整のうえ、(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

温泉地	取組	実施主体
昆布 湯本 五色 新見	宿泊観光客についての災害時避難等について、計画策定を予定	ニセコ町 蘭越町

国民保養温泉位置図 S=1:50,000

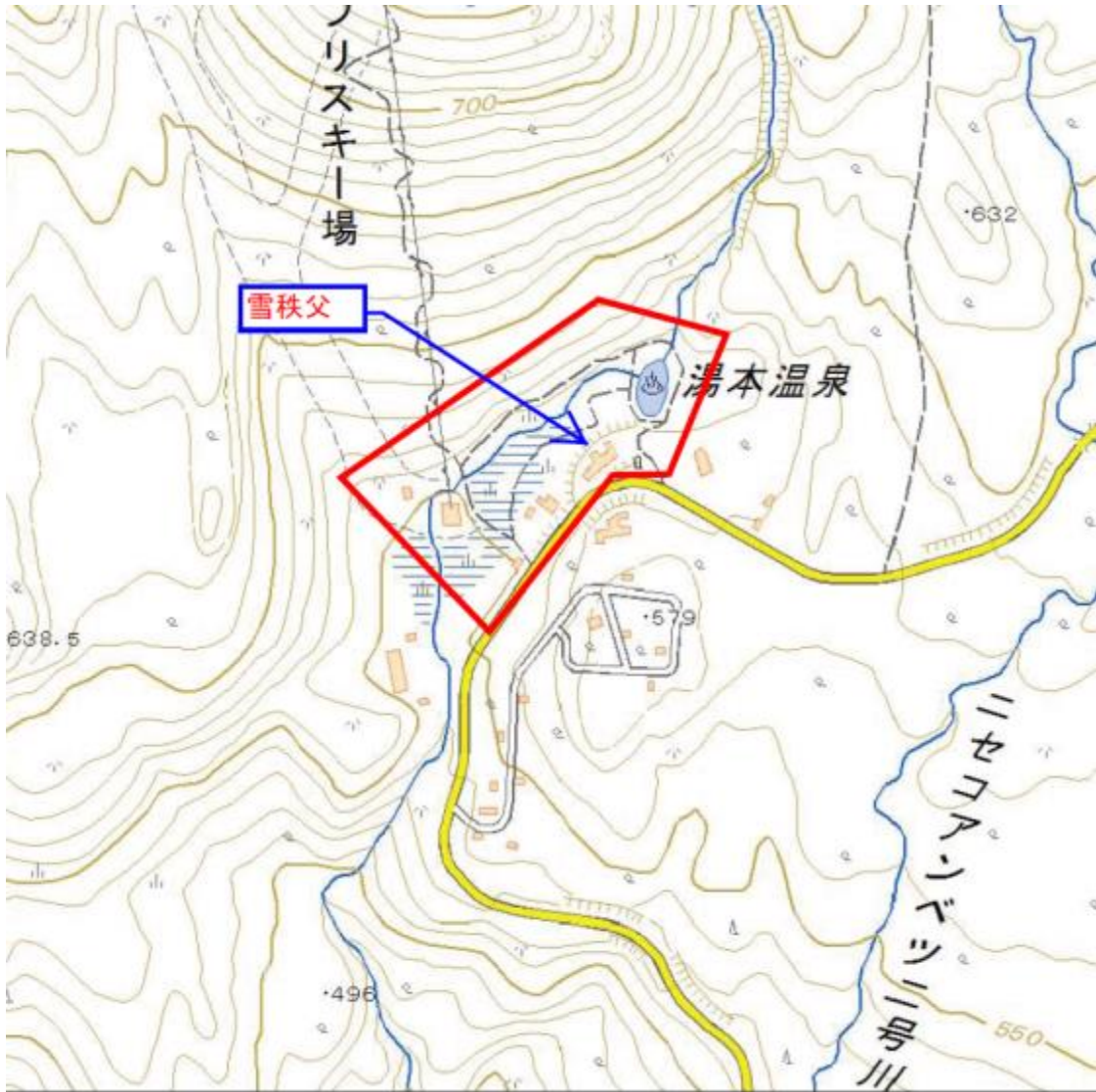


昆布温泉 区域図



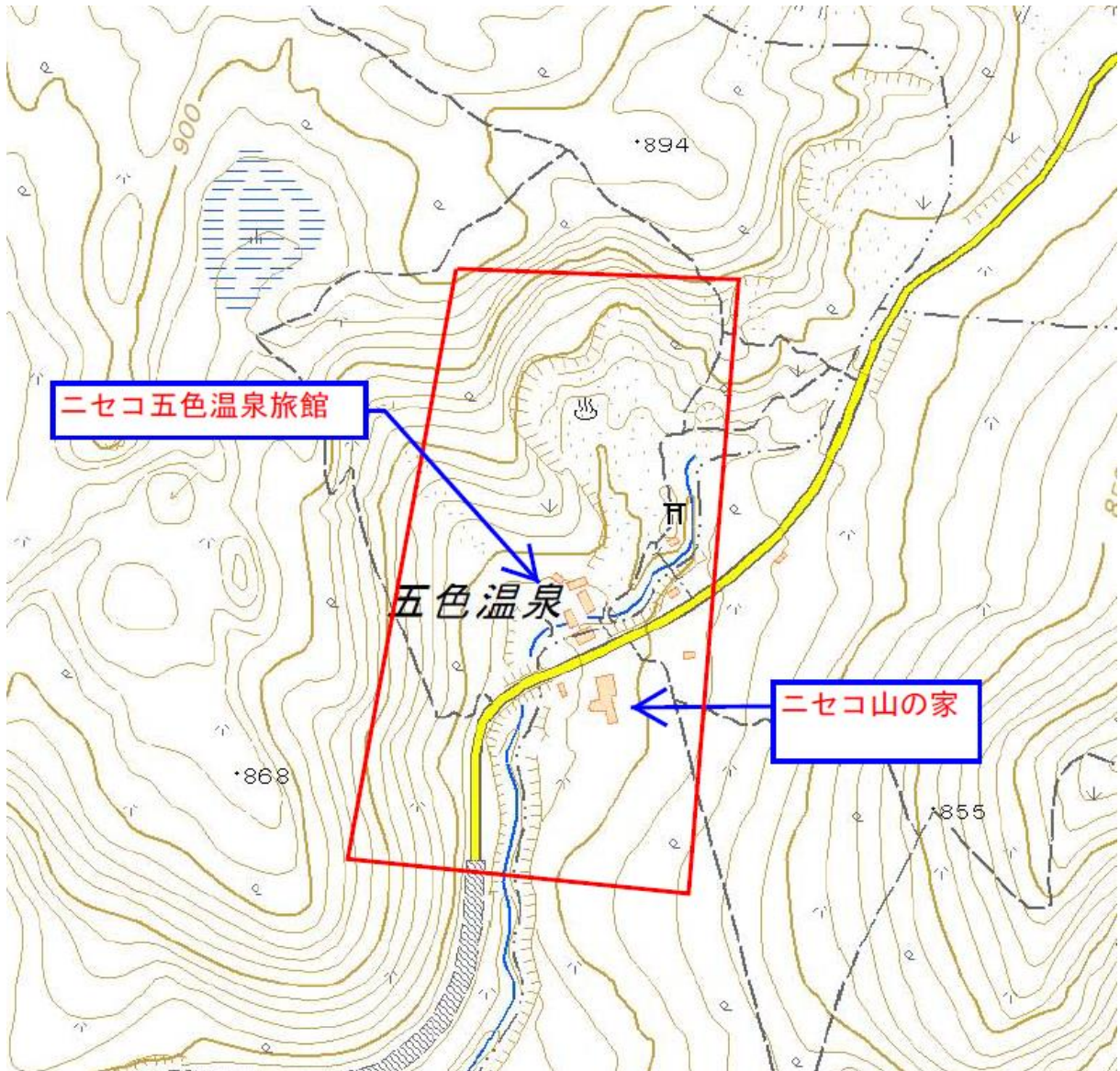
国土地理院地図より複製したものに注釈追加

湯本温泉 区域図



国土地理院地図より複製したものに注釈追加

五色温泉 区域図



国土地理院地図より複製したものに注釈追加

新見温泉 区域図



国土地理院地図より複製したものに注釈追加